

2011(平成23)年度 私立短期大学図書館協議会 全国総会議事録

日時：2011（平成23）年5月20日（金）13：00～14：15

会場：共立女子大学・共立女子短期大学 本館15階会議室（東京都千代田区一ツ橋2-2-1）

出席：35館（42名） 委任状101館 合計136館 総会成立

司会：小林陽子氏（青山学院女子短期大学図書館）

配付資料：全国総会議案書、講演会資料（『情報リテラシー教育の実践－「インターネット情報へのアクセス指南」を参考として』）

・毛利和弘会長から、東日本大震災という未曾有の災害があり、厳しい状況の中で多くの方に参加いただいたことへの感謝と、特に協議会の新体制のスタートとなる議題3「2010(平成22)年度 協議会新体制と新役員選出」については、総会にてご承認いただきたいとのお願いがあった。

また、総会後には常任理事をお引き受けいただいた齋藤誠一先生の情報リテラシーに関する講演や図書館見学会もあるので、何かひとつでも現場に持ち帰って業務に役立てていただきたいとのことであった。

・議長は、玉田清市氏（北海道武蔵女子短期大学附属図書館）が指名され、議事進行を務めた。

・記録人は、土居道子氏（実践女子短期大学図書館）・高野聡氏（新潟青陵大学短期大学部図書館）が指名された。

議題1. 2010（平成22）年度事業報告

・本部事務局の谷口豊氏（日本体育大学図書館）から、総会議案書に基づいて報告があった。

1) 会勢（2011年4月20日現在）加盟1館、退会12館、合計166館

北海道地区10、東北地区15、関東・甲信越地区58、東海・北陸地区17、近畿地区36、中国・四国地区11、九州地区19

2) 全国理事会開催

○日時：2010年5月20日（木）14：00～17：00

○会場：東京ガーデンパレス

3) 全国総会開催

○日時：2010年5月21日（金）13：15～16：50

○会場：内田洋行

4) 『短期大学図書館研究』第30号（2011年3月）の発行

北海道地区（北海道武蔵女子短期大学図書館の柳橋望氏）が担当した。

5) 広報

・『会報』第66号（2011年3月）の作成

中国・四国地区（香川短期大学図書館の小野加代子氏）が担当した。

・ホームページ・メーリングリストの改訂とサイト保守・運用委託契約

会報が年1回の刊行となり、年度途中の事項はホームページで広報する。委託先との協議を全4回開催。

・『図書館年鑑』への報告

『図書館年鑑』掲載の原稿作成は、私短図協（2年）公短図協（1年）で担当となっており、今年度は本部事務局の谷口豊氏が公短図協・日図協短大高専部会・日短協へ原稿を依頼し作成した。

6) 全国研修会

○日時：2010年9月2日（木）13：00～9月3日（金）16：30

○会場：ホテル青森

東北地区（青森大学・青森短期大学附属図書館の菅勝彦館長・下山修司氏）が担当した。

7) 臨時理事会

○日時：2010年12月9日（木）13：55～16：40

○会場：東京ガーデンパレス

例年の「業務担当者連絡会議」を「臨時理事会」との合同会議として開催した。7地区の輪番制で担当してもらっていた業務（研究誌の発行・全国会報の発行・全国研修会の開催）が、加盟館数の減少等により地区輪番制では困難になってきているため、推薦理事の了承を得て本部に移行する場とした。全国研修会については、次回の担当の近畿地区で既に段取りができているということで例外的に業務を残したが、それ以外の業務については全て本部に移行し、理事が業務を担当し、本部事務局がバックアップをするという継続的に業務が続けられる枠組みを作った。今後は、新体制と平行して私立短大関係組織との連携や未加盟短大への加入の働きかけも必要である。

8) 本部役員会：全7回開催（関東・甲信越地区幹事会との合同会議）

*議長より議題1について審議の提案があり、異議なく承認された。

議題2. 2010(平成22)年度決算報告および監査報告

・本部会計の久保田智弘氏（山野美容芸術短期大学図書館）から、総会議案書に基づいて2010(平成22)年度決算報告があった。その後、監査人を代表して、薮島千枝子氏（国際学院埼玉短期大学附属図書館）より「監査を行った結果、適正に処理されている」との報告があった。

*議長より議題2について審議の提案があり、異議なく承認された。

議題3. 2011(平成23)年度 協議会新体制と新役員選出

・地区担当者については各地区で既に承認されているが、協議会新体制の本部推薦理事について会則第6条に基づき総会での承認が必要となるため、毛利会長より紹介があった。

本部（研修担当）：齋藤誠一理事（千葉経済大学短期大学部）[常任理事]

本部（会報担当）：前川和子理事（大阪大谷大学人間社会学部）

本部（研究誌担当）：木村修一理事（北海道武蔵女子短期大学）

本部（名簿担当）：石田孝夫理事（カリタス女子短期大学図書館）

*議長より議題3について審議の提案があり、異議なく承認された。

議題4. 2011(平成23)年度事業計画案審議

・本部事務局の久保寿治氏（共立女子短期大学図書館）より、総会議案書に基づいて事業計画案の説明があった。

1) 2011（平成23）年度全国理事会開催

○日時：2011年5月19日（木）13：00～17：00

○会場：東京ガーデンパレス

2) 2011（平成23）年度全国総会開催

○日時：2011年5月20日（金）13：00～17：00

○会場：共立女子大学・共立女子短期大学

総会の後、講演と図書館見学を行う。

3) 『短期大学図書館研究』第31号の刊行

担当：木村修一理事（北海道武蔵女子短期大学）

4) 広報

・『会報』第67号（2012年2月）の作成

担当：前川和子理事（大阪大谷大学）

・ホームページ・メーリングリストの改訂

担当：石田孝夫理事（カリタス女子短期大学図書館）ほか

・『図書館年鑑』への報告

公短図協・日図協短大高専部会・日短協との調整により、今年度は本協議会の原稿のみ作成。

5) 全国研修会 (2011年9月8日・9日：仙台ガーデンパレスにて開催予定)

研修担当については、本部の齋藤誠一理事にお願いしているが、2012(平成24)年度については既に新体制前の輪番制で準備を進めているため、近畿地区の濱岡賢二氏(大阪信愛女学院短大図書館)が担当することになっている。

6) その他

東日本大震災について

- ・全国理事会にて、本部として被災状況の大きい東北地区加盟の3館を対象に年会費の免除を提案した。
- ・近畿地区より本部からの地区助成金・地区交付金の28万円を被災館のために使って欲しいとの申し出があり、いったん本部預かりとし、被災状況等を再度調査して配分を検討することになった。

* 議長より議題4について審議の提案があり、異議なく承認された。

議題5. 2011(平成23)年度予算案審議

- ・本部会計の久保田氏から、総会議案書に基づいて予算案の説明があった。

Q: 東日本大震災の被災館への見舞金について予算に上げておかなくて良いのか?

A: 年会費相当の見舞金として予備費から支出を検討している。

* 議長より議題5について審議の提案があり、原案通り承認された。

議題6. その他

1) 東日本大震災について

毛利会長から、加盟館の被災状況とその対応について報告があった。

- ・被害状況については、東北地区協議会、関東・甲信越地区協議会から現状報告をしていただいている。
- ・本部としては、見舞金として予備費から15,000円(会費相当)を差し上げようと考えていたが、近畿地区から申し出のあった本部預かりとしている28万円と併せて配分を決めていきたいと考えている。
- ・協議会として被災館に見舞金をお渡ししていくということについては、総会でご承認いただいたうえで、本部において配分方法等について検討していきたいと考えている。

本部事務局の谷口氏から、被災状況調査について補足があった。

- ・被災状況調査全体については、北海道地区、東北地区、関東・甲信越地区の3地区に加盟館へ役員ML上で依頼した。
- ・北海道地区は、大きな被害はなかったとの報告があった。東北地区は、3館ぐらいが書架の倒壊を含めて大きな被害があったと理解している。関東・甲信越地区は、図書落下については被害がでていますが、建物や書架の大きな被害はなかった。報告時の各館の状況にもよるので、再度調査をする必要あると考えているが、単に被災状況を調査する段階から、被災館の要望をヒアリングする段階に来ている。

2) 第97回全国図書館大会(多摩大会)の案内

石田理事から、2011年10月13日・14日に開催される日本図書館協会主催全国図書館大会について案内があった。

- ・13日の全体会(調布市グリーンホール)では、震災に関するシンポジウムが予定されている。
- ・14日の分科会では、短大・高専図書館で単独の分科会(図書館利用教育の実践法)を明星大学(日野市)で開催予定である。なお、明星大学の新図書館見学も予定している。

3) 日本図書館協会の義援金の募集について

石田理事から、日本図書館協会では義援金の募集を8月末まで延長しているのので、個人、団体での義援金やボランティア活動への協力をお願いがあった。

〔質疑&応答〕

Q：今回の震災を踏まえ図書館の増築、改築の際の耐震基準について、図書館には通常の建物と異なる建築基準や留意事項などがあれば教えていただきたい。また、浸水や土砂崩れで建物や書架が倒壊したときの修復についても、ガイドラインのようなものがあれば加盟館で共有できるようにしていただきたい。

A：図書館も通常の建築基準とは基本的には変わらないが、床加重の検討が必ず必要となり、耐震についても書架や建物を免震にする方法がある。今回の震災については、このような基準の想定外の要素が多く、現在でも調査が進んでいない状況であるが、研修会や講演会などが予定されている。主なものとしては、9月8日・9日に仙台で開催される日本私立短期大学協会の研修会、5月26日に日本図書館協会で開催される図書館建築研究会の討論会などがある。水損した資料の対応については、10月13日・14日に開催される全国図書館大会の資料保存分科会で話題にする予定である。被災された図書館の修復事例を加盟館で共有することが必要である。

以上、14時15分に全国総会の議事を終了した。

■講演と見学

【講演】14：30～16：00 『情報リテラシー教育の実践－「インターネット情報へのアクセス指南」を参考として』

講師：齋藤誠一氏（千葉経済大学短期大学部）

公共図書館での実践事例をもとに、情報リテラシー教育に関する講座の企画や実践方法についてお話しいただいた。

【見学】16：15～17：00 共立女子大学・共立女子短期大学図書館を見学

以上